

## ヨコハマトリエンナーレ 2020 の開催報告について

### 1 開催概要

- (1) タイトル：ヨコハマトリエンナーレ 2020 「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」
- (2) 展覧会会期：令和2年7月17日（金）～10月11日（日） 開場日数：78日間
- (3) 会場：横浜美術館、プロット48
- (4) アーティスティック・ディレクター：  
 ラクス・メディア・コレクティヴ  
 （インド出身の3人組アーティスト集団）
- (5) 作家数：69組
- (6) 総来場者数：153,528人（想定：約13万人）
- (7) チケット販売枚数：61,728枚（想定：約4万枚）



### 2 3か年収支見込（横浜トリエンナーレ組織委員会1月末時点）

収入	支出	差引
約10.4億円 *うち横浜市負担金 約6.3億円	約9.8億円	約0.6億円

### 3 報道実績

4,238件（うち海外：257件）※2021年1月まで（前回展：6,923件（うち海外：314件））

<内訳>

（単位：件）

テレビ	CATV	ラジオ	新聞	雑誌等	フリーペーパー	WEB
24(0)	338(0)	36(0)	295(3)	119(22)	67(0)	3,359(232)

※（ ）の数字は、海外の露出件数。内数。

関連イベントの減少等が影響し、報道実績件数は減少しましたが、「日曜美術館」をはじめとするNHKの放送番組や全国紙への掲載等、コロナ禍での開催について大きな関心を持って取り上げられました。

#### 【主な全国紙署名記事】

社名	日付	タイトル
朝日新聞	8月13日	五感と知力、総動員して 明るさに潜む、社会の苦悩を体感 ヨコハマトリエンナーレ2020
読売新聞	8月13日	光の森 現代社会問う…「ヨコハマトリエンナーレ」コロナ禍での実現
日経新聞	8月22日	コロナ禍の世界 映し出す
毎日新聞	9月30日	ヨコハマトリエンナーレ2020「AFTERGLOW - 光の破片をつかまえる」 思考の時間を経て

#### 4 パブリシティ効果・経済波及効果

##### (1) パブリシティ効果

約 51 億円（前回展：約 50 億円）

報道実績件数は減少しましたが、広告価値換算額単価が高い媒体での実績が増加したため、前回とほぼ同額となりました。

##### (2) 経済波及効果（横浜市内）

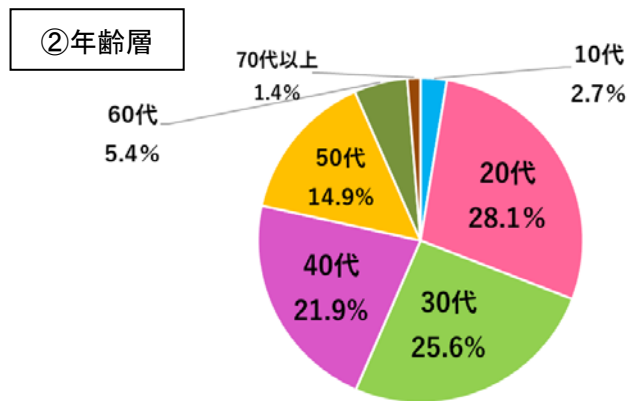
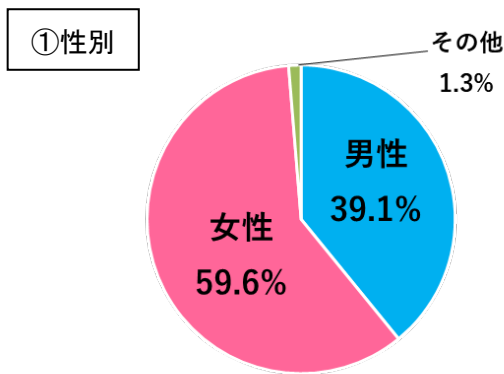
約 23 億円（前回展：約 35 億円）

新型コロナウイルス感染防止対策として入場者数の制限を行うなどしたため、実来場者数が減少し、前回より下がりました。

#### 5 来場者の傾向・アンケート結果

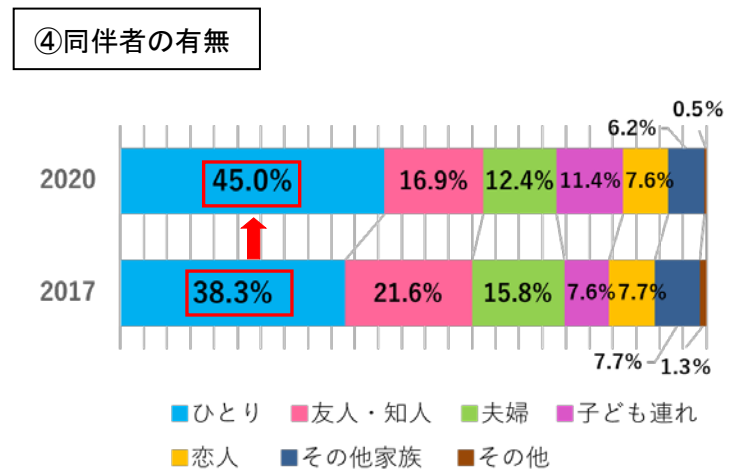
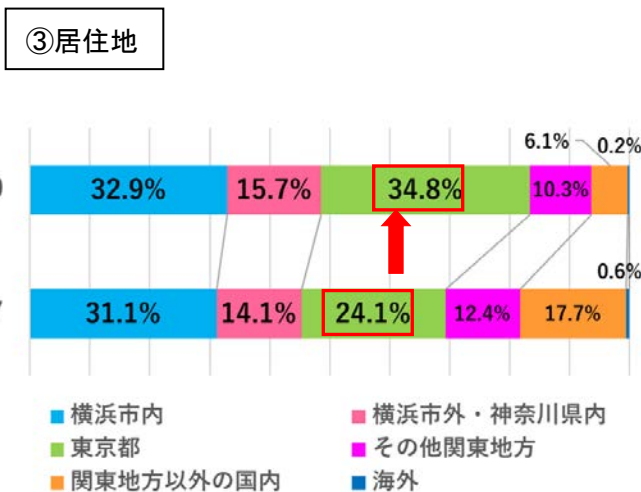
##### (1) 性別・年齢層

- 男女比は女性が約 6 割、年齢では、様々な世代の方にご来場いただきましたが、20、30 代が比較的高くなっています。



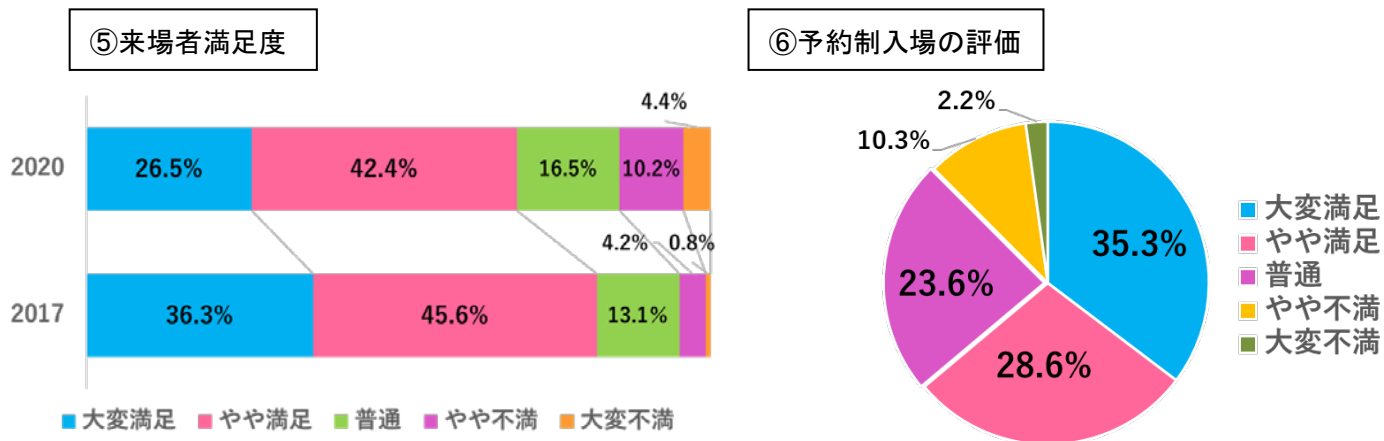
##### (2) 居住地・同伴者の有無

- 居住地では都内の方の来場割合が高くなり、関東地方以外の方の来場割合が大きくなりました。また、ひとりでの来場者の割合が上がりました。



(3) 来場者満足度・予約制入場の評価

- ・ 来場者満足度については、約7割の方に「大変満足」「やや満足」とご回答いただきました。
- ・ 密を避けるために実施した予約制入場に対する評価は、約6割の方に「大変満足」「やや満足」と回答いただき、多くの方に不満なくご来場いただきました。



【来場者からの声】

- ・ 見ごたえがあり、人の少なさにコロナ禍でも安全を感じた
- ・ 1日で複数の会場を回り切ることができなかった
- ・ 鑑賞前の注意事項が多い
- ・ 混雑を気にせずゆっくりと鑑賞できた
- ・ 人数制限するのは感染予防から良いと思う

※①～②はチケット購入者データ、③～⑥は来場者アンケートの結果

<参考>第1回～第7回開催実績

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
開催年	2001	2005	2008	2011	2014	2017	2020
テーマ	メガ・ウェイブ 新たな総合に向けて	アートサーカス 日常からの跳躍	TIME CREVASSE タイムクレヴァス	OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知 ることができるか?	華氏451の芸術: 世界の中心には 忘却の海がある	島と星座とガラパ ゴス	AFTERGLOWー 光の破片をつかま える
ディレクター	アーティストィ ック・ディレクター: 河本 信治 建島 哲 中村 信夫 南條 史生	総合ディレクター: 川俣 正	総合ディレクター: 水沢 勉	総合ディレクター: 逢坂 恵理子 アーティストィ ック・ディレクター: 三木 あき子	アーティストィ ック・ディレクター: 森村 泰昌	ディレクターズ: 逢坂恵理子 三木あき子 柏木智雄	アーティストィ ック・ディレクター: ラクス・メディア・コ レクティブ
会期	9月2日～11月11 日 (67日間)	9月28日～12月 18日 (82日間)	9月13日～11月 30日 (79日間)	8月6日～11月6日 (83日間)	8月1日～11月3日 (89日間)	8月4日～11月5 日 (88日間)	7月17日～10月 11日 (78日間)
主会場	[2会場] パシフィコ横浜展 示 ホール(C,D) 横浜赤レンガ倉庫 1号館	[1会場] 山下ふ頭3号・4号 上屋	[4会場] 新港ピア 日本郵船海岸通 倉庫 (BankART Studio NYK) 横浜赤レンガ倉庫1 号館 三溪園 他無料3会場	[2会場] 横浜美術館 日本郵船海岸通 倉庫 (BankART Studio NYK) 他無料2会場	[2会場] 横浜美術館 新港ピア	[3会場] 横浜美術館 横浜赤レンガ倉庫 1号館 横浜市開港記念 会館地下	[2会場] 横浜美術館 プロット48 (展示協力:日本 郵船歴史博物館)
参加作家数	109作家	86作家	70作家	77組(79名、1コレ クション)	65組(79名)	38組1プロジェクト	69組
総来場者数	約35万人	約19万人	約55万人	約33万人	約21万人	約26万人	約15万人 ※新型コロナウイルス 感染防止のため 入場制限を実施
有料会場 入場者数※	約35万人 *チケットは2日 間有効(連続しな い日も可) *未就学児無料	約16万人 *チケットは1日に 限り有効 *フリーパスあり *中学生以下無 料	約31万人 *チケットは2日 間有効(連続しな い日も可) *中学生以下無 料	約30万人 *チケットは1会 場1日有効 *中学生以下無 料	約21万人 *チケットは1会 場1日有効 *中学生以下無 料	約25万人 *チケットは1会 場1日有効 *中学生以下無 料	約13万人 *チケットは1日に 限り有効 *中学生以下無 料
うち中学生以下	記録なし	記録なし	記録なし	24,205人	26,381人	26,988人	8,619人
うち外国人	記録なし	記録なし	記録なし	約3,000人	4,501人	7,059人	1,198人
チケット 販売枚数	約17万枚	約12万枚	約9万枚	約17万枚	約10万枚	約10万枚	約6万枚
サポーター 登録者数	719人	1,222人	1,510人	940人	1,631人	1,474人	1,671人
サポーター 会期中 のべ活動数	-	-	-	1,340人	2,449人	3,289人	220人
報道実績	237社以上 (うち海外36社以 上) ※掲載件数は記録 なし	1,089件 (うち海外40件)	1,233件 (うち海外165件)	1,763件 (うち海外139件)	3,899件 (うち海外117件)	6,923件 (うち海外314件)	4,238件 (うち海外257件)
パブリシティ 効果	-	-	-	約47億円	約52億円	約50億円	約51億円
経済波及効果	-	-	-	約32億円	約23億円	約35億円	約23億円

※ 有料会場入場者数は、有料会場の延べ入場者数

<参考2> 3年間の収支見込報告（1月末時点）

○収入の部

（単位：円）

項目	2018年度 （決算）	2019年度 （決算）	2020年度 （1月末時点）	2020年展 3か年決算見込み
横浜市負担金	65,000,000	154,000,000	415,140,000	634,140,000
文化庁補助金	0	0	180,000,000	180,000,000
協賛金・助成金	0	359,281	45,945,222	46,304,503
入場料収入	1,098,500	90,000	122,703,700	123,892,200
カタログ等販売収入	63,600	66,051	134,322	263,973
その他収入	871,815	2,997,290	228,591	4,097,696
前年度からの繰越金 （商品・貯蔵品含む）	49,672,655	41,767,777	39,895,166	49,672,655
計	116,706,570	199,280,399	804,047,001	1,038,371,027

○支出の部

項目	2018年度 （決算）	2019年度 （決算）	2020年度 （1月末時点）	2020年展 3か年決算見込み
展示制作費	2,671,479	14,122,005	237,047,533	253,841,017
会場設営費	0	30,000,000	69,867,171	99,867,171
会場運営費	0	24,642,135	227,990,416	252,632,551
広報費	4,143,885	12,536,286	55,414,931	72,095,102
地域連携事業費	0	2,000,000	0	2,000,000
カタログ等経費	245,586	106,718	11,197,415	11,549,719
関連行事費	0	0	3,266,803	3,266,803
入場券経費	0	0	18,754,780	18,754,780
専門家旅費	1,785,777	6,551,467	0	8,337,244
市民協働関連業務費	8,000,000	3,043,379	698,732	11,742,111
業務委託費	16,307,651	28,749,379	49,160,063	94,217,093
事務局費	41,248,339	37,555,418	59,845,314	138,649,071
固定資産取得支出	0	0	3,172,673	3,172,673
消費税	461,500	0	12,832,500	13,294,000
法人税	74,576	78,446	74,714	227,736
翌年度への繰越金 （商品・貯蔵品含む）	41,767,777	39,895,166	54,723,956	54,723,956
計	116,706,570	199,280,399	804,047,001	1,038,371,027